

更新 令和3年4月14日 ※更新した箇所は、**太字・下線・網掛け**の表示になっています

日本学生支援機構の奨学金（給付型・貸与型）

宮城県伊具高等学校

◎今後の予定

・5月に新年度の予定を呈示予定

（1）奨学金の種類

独立法人日本学生支援機構の募集する奨学金は、来年度に大学・短大・専門学校などへの進学を希望しているものの、経済的理由により修学が困難な生徒に向けてのものです。推薦基準は、学業に優れ、健康であり、経済的理由で奨学金が必要とされる生徒とされます。進学する学校によっては利用できない場合もあります。その他、詳しくは担当者までご連絡をください。

高校で申し込むことのできる奨学金は「**予約採用**」です。進学してから申し込む「在学採用」もあります。

「予約採用」…… 高校在学中に予約採用を受ける。

4月に上級学校へ進学し手続きをすると、4月から奨学金が受け取れます。

「在学採用」…… 上級学校に進学後、申し込みをして受け取れる奨学金（進学先で手続き）
ただし、受け取りは早くても半年後頃になります

「予約採用」には大きく次の2種類があります。

- 「給付型」＝返還する必要のない奨学金
- 「貸与型」＝原則必ず返還する奨学金

また、「貸与型」の奨学金にも、次の2種類があります。

- 「第一種奨学金」＝奨学金の返還に利子が付かない「借りた金額 = 返す金額」
- 「第二種奨学金」＝奨学金の返還に利子が付く「借りた金額 < 返す金額」

「第二種」の利子は、国の教育ローンに比べれば低い利率にはなります。しかし、最終的に奨学金の返還のときには、借りた額より大きな金額を返すことを忘れないようにしてください。

（2）「予約採用」の申し込み時期について

上記の奨学金はいつでも申し込める訳ではありません。また、選定の条件が厳しい順におおよそ給付型・第一種・第二種となります。令和3年度は申込機会が3回あります。校内説明会で詳しい内容を提示します。

申し込みは、①申し込み書類の提出、だけでなく、②インターネットによる申し込み入力もあります。②については学校で行うので、まずは、申込書類の作成をお願いします。

校内の 申込期日	1回目 5/21 (金)	2回目 6/18 (金)	3回目 7/21 (水)
-------------	-----------------	-----------------	-----------------

(3) 給付奨学金の概要

平成29年度から給付奨学金が創設されました。借りた金額を返還する「貸与型」と異なり、奨学金を返還しなくてもよい奨学金です。

対象は、経済的理由により進学が極めて困難な生徒に対してで、進学を後押しすることが目的です。金額は月額9千円～7万円程度〔世帯の収入の状況、進学先が国立・私立か、自宅通学か自宅外通学なのかなど条件によって金額が変わる〕となっています。実際の進学には、学費だけでなく、その他の費用もかかることから、給与型の金額では全額をまかなうことが難しいため、多くの生徒は「給付型」と「貸与型」とを併用して利用します。

具体的な経済的理由としては、住民税非課税世帯、もしくはそれに準じる経済状況の世帯に支給されます。支給月額も世帯の経済状況や進学先などにより幅があります。実際の審査には家族構成、障害者認定があるなどいろいろな要素が係わるため、日本学生支援機構で行います。また収入状況、児童手当などの情報を日本学生支援機構が集めるために、本人・保護者のマイナンバーも日本学生支援機構に送付する必要があります。

選考の基本は、『日本学生支援機構に申込をして審査を受けて決定される』となります。

奨学金は給付・貸与を問わず、生徒全員が応募することができます。しかし、申し込みするときには学校側では給付型の対象になるかどうか分かりません。申し込みをしてみて、日本学生支援機構で審査を受け、決定された奨学金の内容を受け取るという事になります。

ご家庭の収入状況から給付型・第一種奨学金の対象になるかどうかの参考に、下記のURLのシミュレーターをご利用ください。

「進学資金シミュレーター」

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

また、奨学金の種類、貸与月額、利率など様々な条件で、将来の返還額や返還回数の試算には、次のシミュレーターをご利用ください。申込前の確認にお使いください。

「奨学金貸与・返還シミュレーター」

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

担当 教務部 小笠原

TEL 0224-72-2020